

Pair Letter

ペアレター

2025年 4月 新体制スタート
病院長就任

岡部 真一郎

～地域の皆さまに
より親しまれる
病院を目指して～

就任のあいさつ／新任部長挨拶／看護の日イベントを開催／ドラマ撮影に協力



松戸市立総合医療センター
Matsudo City General Hospital

外来診療一覧（R7.7.1現在）

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

発行元：松戸市立総合医療センター病院政策課

診療科名		外来表（一般外来及び予約専門外来）	備考
内科系	内科	糖尿病・代謝・内分泌	一般外来
		リウマチ・アレルギー（完全紹介予約制）	一般外来
		内科	一般外来
			月・火・金曜日休診
	循環器内科	一般外来／ペースメーカー外来	
	呼吸器内科	一般外来	
	消化器内科	一般外来	
	脳神経内科（完全紹介予約制）	一般外来	
	血液内科（完全紹介予約制）	一般外来	
	緩和ケア科（予約制）	診察は外来主治医と相談	
	総合診療科	一般外来	
	皮膚科（完全紹介予約制）	一般外来	※現在新規患者受入休止中
	化学療法内科（予約制）	診察は外来主治医と相談	
外科系	外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来	
	呼吸器外科	一般外来	火・金曜日休診
	心血管外科（予約制）	一般外来	
	脳神経外科	一般外来	
	整形外科（完全紹介予約制）	一般外来／小児整形／成人股・膝・肩・肘関節・手／側弯症／リウマチ	
	形成外科（予約制）	一般外来	水曜日休診
	眼科（完全紹介予約制）	一般外来	火曜日休診・木曜日午後休診
	耳鼻いんこう科（完全紹介予約制）	一般外来	火曜日午後休診
	泌尿器科（予約制）	一般外来	
	産婦人科（完全紹介予約制）	一般外来／妊婦健診／不妊外来／NIPT外来	
	歯科口腔外科（完全紹介予約制）	一般外来	月曜休診 第2・4金曜日午前手術のため院内対応のみ
	小児科	一般外来／小児神経／腎臓／アレルギー／呼吸器／血液／循環器／感染／内分泌	
	小児外科（完全紹介予約制）	一般外来	月曜日午前休診・水・金曜日休診
小児	小児脳神経外科（完全紹介予約制）	一般外来	月・水・木曜日休診
	小児心臓血管外科	一般外来	
	新生児科（予約制）	一般外来／シナジス外来	月曜日午後・火曜日・木曜日午前休診
	放射線治療科（予約制）	一般外来	水曜日午後休診（水曜日午前、木曜日再来のみ）
	救急科（再米）（予約制）	再米患者 11:00～12:00	
	精神科	現在休診中	
	女性特別外来（予約制）	一般外来	木曜日以外は休診
	禁煙外来	総合診療科外来へ	
	セカンドオピニオン外来（予約制）	一般外来	
	助産師外来（予約制）	産婦人科外来へ	
	ストーマ外来（予約制）	人工肛門／人工膀胱（外科・泌尿器科外来または外来主治医と相談）	
	その他		
	特別外来		



松戸市立総合医療センター
Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1

TEL 047-712-2511（代）

【診療】 月曜日～金曜日（土・日曜日、祝日、年末年始は休診）

【受付時間】 初診：午前8時30分～午前11時

再診：午前8時～午前11時

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。（6ページを参照）



総合医療センター
QRコード

交通アクセス：有料駐車場有（418台） 松戸駅・北松戸駅から京成バス千葉ウエスト馬橋駅・北松戸駅からゆめいるバス、京成松戸線八柱駅からシャトルバス旧東松戸病院からシャトルバス



2025年4月1日

おか べ しん いち ろう

岡部 真一郎 病院長就任

前病院長の尾形章先生の後を継ぎ、4月に病院長を拝命いたしました岡部真一郎です。私は、15年間消化器内科医として勤務してきましたが、その間に病院の移転、コロナ感染症などさまざまなことがありました。

これまでの歩みや、力を注いでいる専門分野などご紹介いたします。



地域の皆さまにより親しまれる病院を目指して



医師を志したきっかけは？

祖父が開業医をしており、なんとなく憧れがあったことと小学生の頃、祖母が今で言う吸入器を自宅で使っていて調子が悪そうであったこと等から、医師に漠然とした憧れのような気持ちがありました。具体的に医師を目指そうと考えたのは、高校生になってからで、当時、周りの環境も影響があったように思います。ぼんやりですが人のためになるのかなと思ったことや手に職を付けたいという気持ちがあったからです。

専門分野は？

専門分野は、消化器内科、特に肝臓分野になります。興味を持ったきっかけになったのは、1989年のC型肝炎の発見です。以後、医師としてのキャリアを積んで行くのに併せて、C型肝炎の治療も、インターフェロン治療から抗ウイルス剤の治療へと大きく進歩し、現在ではほぼ治る病気となっております。初期研修を終えて、大学に戻った頃は、特に肝がんの治療を専門としました。当時大学では、肝がんの治療として穿刺治療と血管造影を中心に行っていました。肝がんの治療は近年薬物療法が大きく注目されており、現在はこれまでの治療と薬物療法を組み合わせで行っております。またウイルス肝炎の減少から、現在は代謝性の肝障害、いわゆる脂肪肝が注目されております。医療の進歩と病気の変遷を実感しています。

ご趣味は(休日の過ごし方など)？

酷暑対策で自宅にグリーンガーデンを作ったことをきっかけに、ベランダ栽培を楽しんでいます。当直をすると水やりができずに枯れてしまうこともあったのですが、野菜や果樹を育成しています。一時ラベンダーやブルーベリーなど、やや寒冷地向けの植物も扱いましたが、年々生育が悪くなり枯れてしまいました。今では、マンゴー等の熱帯果樹の方が良く生育します。地球温暖化の影響で気温が上昇していることの反映だと思いますが、環境負荷について考えさせられています。

病院長 岡部 真一郎

1990年千葉大学医学部卒業後、千葉大学消化器内科学（旧第一内科学）教室入局、関連病院で研修。千葉大学大学院医学研究科博士課程修了、昭和大学附属豊洲病院助手、千葉大学医学部附属病院講師を経て、2010年10月より消化器内科部長、2025年4月より現職。

ご来院される皆様へ

当院は松戸市が設置者である市立病院ですが、当院の所属する東葛北部医療圏においては、小児周産期医療、3次救急を担う急性期病院です。新型コロナウイルス感染症の発生時には、市内の重症者の受け入れを行っていました。総合病院として専門科に分かれた診療を行っておりますが、外来待ち時間の状況により、完全予約制を取り入れている診療科も多く、医療アクセスとしてはあまり良くない面もあるかと思っております。しかしながら、当院は、各診療科がそれぞれの専門性を活かして責任を持って医療を提供し、迅速に診断、治療につなげています。基本理念であるすべての人に「来てよかった」と思われる病院を目指しています。

医師として大切にしていることは？

他の医師も同じかと思いますが、“患者さんのためになることを行う”ということです。何が患者さんのためになるかは、患者さんのこれまでの生活環境などにも影響されると思いますし、ご家族の思いへの配慮も必要だと思います。一人ひとりの人生に向き合う気持ちで、日々診療していきたいと思っております。もちろん一人でできることには限界があり、よい医療のためには多職種の総合力が必要なことも十分踏まえて対応していきたいと思っております。

消化器内科 部長 森居 真史

1994年千葉大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、水戸衛生会総合病院、組合立東陽病院、町立大網病院を経て2009年4月より当院へ。

専門的なスキルの向上に努めながらも、専門性に偏りすぎず、常に患者さんの全体を診る視点を大切にしています。医療は個人の力だけで完結するものではなく、チームで支え合うことで初めて質を高められるものだと考えています。各医師がそれぞれの専門性を深めつつ、診療科としての守備範囲を広げ、柔軟で幅広い医療を提供できる体制を目指しています。

消化器内科では、食道・胃・腸に加え、肝臓・胆のう・すい臓など、消化に関わる臓器の病気に対して、丁寧な診断と治療を行っています。疾患だけを見るのではなく、患者さんの背景や状態にも配慮しながら、適切な医療を届けることを心がけています。

専門性と誠実さの両立を大切に、日々の診療に取り組んでいます。目の前の患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、地域に根ざした医療をこれからも提供してまいります。

小児科 部長 鈴木 一広

1992年千葉大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、東京都立墨東病院、千葉市立海浜病院、千葉県こども病院等を経て2003年4月より当院へ。専門分野は循環器疾患。

地域の子どもたちが元気に、楽しく、のびのびと成長していける場をつくりたい。私たち小児科は、そう願う仲間たちの集まりです。その子自身の病気やケガだけでなく、ご家族や友人を含めた周囲の健康にも目を向け、「いろいろな病気があっても大丈夫」と伝えられる存在でありたいと考えています。

近年、松戸市周辺の東葛地域では、子どもが入院できる医療機関が減少しており、当科にも外来・入院ともに多くの患者さんが来院されています。限られた時間の中でも、一人ひとりに向き合った診療を続けていくために、地域の先生方や院内の他診療科と連携し、病気の早期発見や適切な治療につなげる体制づくりを進めています。ご家族の負担が少なくなるよう、短期入院や地域のかかりつけ医との外来連携にも取り組んでおり、今後も安心して受診できる小児医療の体制を構築していきたいと考えています。

「こどもの健康」は、家族や社会全体が明るくなるための大切な土台だと考えています。「いま」も「未来」も、子どもたちが安心して、明るく楽しい日々を過ごせるよう、医師・看護師・スタッフ一同、力を合わせて取り組んでまいります。

小児外科 部長 武之内 史子

2000年千葉大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、旧国保松戸市立病院、君津中央病院、東京女子医科大学八千代医療センター等を経て2025年4月より当院へ。

お子さんの入院や手術は、ご家族にとって大きな不安を伴うものです。医療者にとっては日常でも、患者さんにとっては初めての経験であることが多く、安心して治療を受けていただけるよう、わかりやすく丁寧な説明を日々心がけています。

小児外科では、新生児から中学生までの子どもの手術を幅広く担当しています。病気を治すだけでなく、成長後の体の機能もできるだけ自然に保つことが大切です。お腹に小さな穴を開けて行う内視鏡手術など、体への負担が少ない手術や、手術に代わるさまざまな治療法も積極的に取り入れていきたいと考えています。

また、小児外科医は全国的に数が限られているため、将来も安心して子どもたちの健康を守り続けられるよう、若手の育成にも力を注いでまいります。

お子さんご家族が安心して医療に向き合えるよう、成長を見守る気持ちで、優しく確かな医療を提供してまいります。

救急科 部長 八木 雅幸

2007年東京医科歯科大学（現・東京科学大学）医学部卒業後、太田西ノ内病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、旧国保松戸市立病院、東京医科歯科大学救命救急センターを経て2020年4月より当院へ。

長年、外傷による大量出血やショック状態に対する研究と診療に取り組んできました。特に、外傷初期の迅速な止血と、その後に起こる多臓器障害への集中治療に力を注いできました。また、東日本大震災での被災経験から、国内外を問わず災害医療にも貢献したいと考えています。

救急医療では、重篤な患者さんをいかに早く見極め、速やかに治療へと結びつけられるかが重要です。消防局との連携に加え、医師が直接現場に向かうDr.Carを活用した緊急出動体制など、1秒を争う現場で命を守る取り組みを進めています。

また、救急医療は日々進歩しています。最新の知識や技術を柔軟に取り入れ、現場に適応し続けることが、持続可能な診療体制につながります。そうした姿勢を次の世代にもつなげていけるよう、人材育成にも力を注いでいます。

救急診療は社会のインフラと言われています。みなさまが日々安心して暮らせるよう、地域の一員として、全力でその役割を果たしてまいります。

外科 部長 三浦 世樹

1999年千葉大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、成田赤十字病院、上都賀総合病院、千葉県がんセンター、小田原市立病院、さいたま赤十字病院、佐々木研究所附属杏雲堂病院を経て2013年4月より当院へ。

消化器外科を専門に、肝胆膵疾患や上部消化管に対する腹腔鏡手術に力を入れています。近年はロボット支援手術も導入し、体への負担を減らしながら、安心で安全な手術を通じて、患者さんの早期回復と日常生活の向上を目指しています。

外科の治療は選択肢が多く、「自分に合う方法は何か」と悩まれる方や、術後の生活に不安を感じる方も少なくありません。当科では消化器内科や化学療法内科などと連携し、一人ひとりの状態に合った“優しい治療”を丁寧に考えています。また、医師だけでなく、看護師や理学療法士、栄養士などの専門職が連携し、患者さんを多方面から支える体制を整えています。

私たちは、患者さんの不安にしっかり寄り添い、納得して治療を受けていただけるよう、わかりやすい説明を心がけています。これからも、安全で質の高い医療を地域の皆さまに提供できるよう、責任を持って努めてまいります。

整形外科 部長 宮下 智大

1999年千葉大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、旧国保松戸市立病院、上都賀総合病院、八街総合病院、鹿島労災病院を経て2008年10月より当院へ。専門分野は脊柱脊髄外科。

患者さんとの信頼関係を大切に、二人三脚で治療に取り組んでいます。治療は医師だけでなく、患者さんがご自身の病気をよく理解し、納得して治療に臨むことが重要だと考えています。そのため、丁寧にわかりやすい説明を心がけています。

当科では、脊椎疾患や変形性関節症、骨折・脱臼などの外傷をはじめ、幅広い疾患に対応しながら、より質の高い医療を追求し、日々研鑽を重ねています。

状態が安定した患者さんに対しては、近隣の医療機関と密に連携し、安心して継続したケアが受けられるようサポートするとともに、外来の待ち時間短縮にも努めております。

11名の常勤医師がそれぞれの専門性を活かし、当科ならではの整形外科医療を地域の皆さまにお届けしてまいります。

整形外科は、背骨や手足などの運動器を診る診療科で生活の質に直結する体の「動き」を支えています。これからも、地域の皆さまが安心して日々の生活を送れるよう、力を尽くしてまいります。

他にも下記職員が各所属長に就任いたしました

薬局長 高橋 憲二 臨床検査科技師長 永松 紀子 中央放射線科技師長 根本 顕一

「看護の力で健康いきいきライフ」

看護の発展に大きく貢献したフローレンス・ナイチンゲールの誕生日（5月12日）にちなんで制定された『看護の日』にあわせて、今年も院内でイベントを開催しました。

今回は、5月9日（金）に外来や入院病棟で行い、たくさんの患者さんやご家族にご参加いただきました。

昨年に続き、体験型ブースを通じて患者さんとふれあう機会を持つことができました。今年は特別ゲストチーバくんが登場！お子さんからご高齢の方まで、思わず笑顔がこぼれる和やかな時間となりました。



6月29日（日） 小児診療初期対応（JPLS） コースを開催

当院で、千葉県内で3箇所目、松戸市内では初となるJPLSコースを開催しました。

JPLSとは、「防ぎうる心停止から子どもたちを守る」ことを目的として小児科学会が主催する講習会です。このコースでは、重篤な子どもに対応するための「意識評価、呼吸循環管理」等をシナリオに沿って学び、受講者12名の中には、市内の開業医も参加。子どもたちの命を守るため、地域との連携も深くなる学びの多い講習となりました。



ドラマ撮影に協力しました

2025年春、当院は複数のドラマ撮影に協力しました。テレビ朝日系『天久鷹央の推理カルテ』や、日本テレビ系『恋は闇』の撮影が院内で行われ、特に『恋は闇』では、主人公の親友が看護師として勤務する病院として、何度も登場しました。



突然現れた

ミッキーとミニー

歓声が沸き上がりました！

病気などで外出が難しい、小児病棟に入院中の子どもたちやご家族に、ミッキーとミニー、そしてディズニー・アンバサダーが会いに来てくれました。

一人ひとりに声をかけ、寄り添う姿に、子どもたちはもちろん、ご家族にも笑顔が広がり「治療の励みになった」との声も寄せられるなど、特別なひとときとなりました。



外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際は
お電話または診療科のホームページをご覧ください。



初めて来院される方（初診）※1

紹介状をお持ちの方

8：30から11：00まで
（予約のある方は予約時刻
の15分前までに）

お電話でご予約いただけます
TEL：047-712-0685
受付時間 8:30～17:00
（土日祝、年末年始を除く）※2

紹介状のない方

8：30から11：00まで

初診時選定療養費として
医科 7,700円 } を負担して
歯科 5,500円 }
いただくことがあります ※3

2回目以降の来院の方（再診）

予約のある方

8：00から予約時刻まで

診察前にマイナンバーカードで
資格情報等の確認をしてください。
マイナンバーカードをお持ちでない方や
公費負担医療を利用する方は、
1階1番受付にご提示ください。

予約のない方

8：00から11：00まで

再診時選定療養費として
医科 3,300円 } を負担して
歯科 2,090円 }
いただくことがあります ※3

1階1番受付へお越しください

診察券（お持ちの方）と紹介状、
マイナンバーカード（保険証）を
ご提示ください

診察券（お持ちの方）と
マイナンバーカード（保険証）を
ご提示ください

1階9番自動再来受付機で受付

診察券をご準備ください

1階1番受付へお越しください

診察券とマイナンバーカード
（保険証）をご提示ください

受診科の外来受付へお越しください

問診票にご記入の上、受付票と一緒にご提出ください

受診科の外来受付へお越しください

受診案内票に検査の指示がある方は検査を済ませ、外来受付へ
看護師から指示があった方は、問診票をご記入の上、ご提出ください

診察 及び 検査

待合で、モニターに受付票の受付番号が表示されますので、お待ちください

会 計

1階会計前のモニターに会計番号が表示されたら、3番窓口または10番診療費支払機にてお支払ください
（「医療費あと払いクレジットサービス」もございます。詳しくは病院ホームページにてご確認ください。）

※クレジットカードをご利用いただけます。

※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります

- ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
- ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合

※2 初診の予約方法

- ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんがお電話で予約をする方法
（お手元に紹介状をご準備ください）
- ・かかりつけ医からFAXで予約をする方法

※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません

- ・救急車で当院に搬送された方
- ・生活保護による医療扶助の対象となる方
- ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
- ・労働災害・公務災害で受診の方
- ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

附属看護専門学校

入学式が行われました



今年は新たに36名が附属看護
専門学校の門をくぐりました。

コロナ禍を経て久しぶりに保護
者の列席も叶い、温かな雰囲気の中での式となりました。校長など
からの祝辞を受け、新入生たちは
期待と希望を胸に、看護師への第
一步を踏み出しました。

ご存じですか？ 患者相談コーナー

患者さん、ご家族の方の
病気や療養に伴っておきる
さまざまな問題や不安、悩
みごとがあると思います。

当院では、患者相談コー
ナーを設け、一緒に考え、
解決にむけて専門の医療ソ
ーシャルワーカー・看護師
等がお手伝いいたします。
お気軽にご相談ください。